



学校だより

後川

No. 24

令和3年3月24日（水）発行
四万十市立後川中学校

進級おめでとう！

令和2年度が本日で終了しました。年度当初は、新型コロナウイルスの影響で休校が続き、学校行事なども大幅に縮小となった1年間でした。けれども、全学年で何事もアイデアを出し合い、工夫しながら力を合わせて乗り切った1年間でした。1、2年生の皆さん、学習に部活動に生徒会活動に全力で取り組み、体力も精神的にも成長したことを嬉しく思います。皆さんの真面目さやひたむきさ、優しさを誇りに思います。進級おめでとうございます。



【卒業式当日 開式の前】



【卒業式後の1・2年生】

本校は「自ら学び、自ら考え、主体的に行動できる生徒の育成」をめざして全教員で取り組んできました。特に、各教科では主体的・対話的な深い学びにつながるよう授業改善に取り組んできました。5教科を中心に単元で身に付ける力や単元のゴールを生徒に示し、教員も生徒も見通しを共有しながら学習を進めてきました。どの教科でも生徒たちは目的意識をもって学習に取り組めることができました。学力は基礎・基本と学習したこと活用し、自分で問題を解決し、生活をより豊かにするために必要です。今後も各教科での学習に加えて、読書やニュース、新聞等の情報を上手に取り入れ、物事を多面的・多角的にとらえ、思考力や表現力をより高めていってほしいと思います。

また、学校生活でもいつも周りの仲間と協力しながら、最後まで全力でまじめに取り組むことができました。学年を越えて交流できること、仲よくできること、誰にでも心を開き、優しくできることはとても素晴らしいことです。けれども、気になることもあります。提出物や宿題を忘れて、時間にルーズな場面があったりします。忘れ物や時間を守ることは、社会人になってからも大切なことです。日々の生活をきちんと丁寧に過ごす習慣をつけていきましょう。来年度は学校再編に向けて最後の年です。新型コロナウイルスもまだまだ心配な状況ですが、何があっても全員で力を合わせて乗り越えていきましょう。保護者の皆様、いつも本校の教育活動にご理解・ご協力いただき本当にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

【裏面もご覧ください。】

高知新聞3月5日(金)に「中学校特派員だより」に掲載されました。紹介記事をお知らせします。掲載おめでとうございます。

本年度、全生徒の記事が掲載されました。学校生活を通してしっかり見つめ、考え、自分の言葉で表現し伝えることができるすばらしい力を備えている後川中学校の生徒たちです。これからも自分の考えや意見をどんどん発信していきましょう。

大切なライバル、先ばい

さすが最上級生

★四万十市・後川中★

学習発表会がありました。私が一番に残ったのは、3年生の「恩返しプロジェクト」です。私はネーミングセンスがバツグンだと思いました。

このプロジェクトは、1、2年生に向けて3年生が何ができるか、それぞれが考え、それを実行する。というものでした。一番私が魅力的だと思ったのが、弘田早絵ちゃんの「手紙を書く」ということでした。今までのありがたさの気持ちとかを伝えるのがすごく好きだから、と言っていました。私は早絵ちゃんにピッタリな企画だと思いました。

その次に魅力的だったのが、門田来実ちゃんの絵を描いてプレゼントをする、という企画でした。普段から絵を描いているからと言っていました。私も絵を描くのは得意ですが、来実ちゃんの絵はすごく上手だと思ってるし、他の人に絵を描いてもらう機会がありませんので、ぜひ、描いてもらいたいと思ったからです。私はさっそく、推しの「ころんくん」の絵を頼みました。さすが3年生。考える企画が人に興味を持たせたり、してほしいと思わせるようなものばかりでした。このように考えることはむずかしいと思うので、すごく尊敬します。

(1年、林海風特派員)

令和二年度四万十川の子68号に「詩」が掲載されました。おめでとうございます。

1年 威能 実智さん
「早く拾って～」
渡邊 煌野さん
「インコ」

3年 弘田 早絵さん
「この世で一番のシュークリーム」
山本 諒さん
「子どもの苦惱」

大人になるまでに読みたい詩
時間があるとき、ゆっくり声に出して
読んでみましょう。

道程 高村 光太郎

僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る
ああ、自然よ
父よ
僕を一人立ちにさせた広大な父よ
僕から目を離さないで守る事をせよ
常に父の気魄を僕に充たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため